

プラス株式会社 本社/東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス12階
代表取締役社長 今泉公二

“立って・座って”仕事を活性化 座位⇔立位に切り替えて身体の負担を軽減し、心身のリフレッシュで生産性向上 天板昇降デスク「ワークリフト」新発売



プラス株式会社(東京都港区 代表取締役社長 今泉公二)は、仕事の内容や体調に合わせて天板の高さを片手で簡単に上げ下げでき、立っても座っても執務ができる天板昇降デスク『Work Lift(ワークリフト)』を 2009年 11月 20日より発売します。

天板昇降デスクは、座位から立位へ姿勢の切り替えを促進することにより、固定姿勢から生じる神経・血管の圧迫を防止し、腰痛や肩こりなどをごく自然に予防・改善します。また、作業に合わせて姿勢を変えることは意識の活性化につながり、作業効率を高めるという利点もあります。さまざまな体格・年齢や作業に対応して高さを変えられるため、ユニバーサルデザインの観点からも有効です。加えて、座位は集中、立位はコミュニケーションと、ワーカーのシチュエーションを周囲に明確に表現することが可能です。

福祉先進国のスウェーデンでは、電話交換手の腰痛対策の医療機器として開発され、80年代からオフィスにも普及し、現在は一般的に使われていますが、日本では価格、操作性の問題、オフィス環境への意識の違いなどから導入が遅れていました。しかしPC作業による疲労や不調を感じる人が増える中※、腰痛対策など健康意識が高まっています。また、最近では効率や生産性向上のためにスタンディング式の会議を行う企業も増え、知的生産性の向上を目指す機運などから今後の普及が期待されます。

プラスは、“ヘルス&プロダクティビティ向上デスク”の提案として、『ワークリフト』と同時に取り扱いを開始するスウェーデン製天板昇降デスク『Sit&Stand(シット & スタンド)』と併せて、積極的な市場創造を図ってまいります。

『ワークリフト』は、低価格とクイックな操作性を特長とし、新開発したレバー式ガススプリング機構を導入。チェアの機構を応用、ガス圧を利用した昇降システムにより、昇降動作に要する時間は最下点から最高点まで約1秒とスピーディです(特許出願中)。価格(税込)は幅1,000mmが189,000円、1,200mmが199,500円です。グリーン購入法適合商品。

《主な製品特長》

◆新開発のレバー操作でスムーズに高さ調節(機構部:特許出願中)

天板昇降はチェアと同じ要領で、片手で天板下のレバーを引くだけ。新開発のレバー式ガススプリング機構により、軽い力で天板を動かすことが可能です。天板の高さは700mmから1,150mmまで無段階に調節可能。ワークスタイル、シチュエーションに柔軟に対応し、座位・立位の変更がスムーズです。

◆お求めやすい価格帯を実現

ガス圧を利用したレバー式手動機構など、自社工場(群馬県前橋市)がこれまで培ってきた技術、経験を生かして低価格を実現。オフィスワーカー向け天板昇降デスク市場ではこれまでにないコストパフォーマンスを実現しました。



最大稼働域 450mm

◆使い勝手や安全・スマート配線にも配慮

天板昇降時に PC が邪魔にならないように、足元にデスクトップ PC 用の PC ラック*が設置できるほか、対面の視線を遮るデスクトップパネル*、ペントレー*が付けられます。

また天板下には大型の配線受けがあり、天板昇降に対応してケーブル類をホールドします。また配線受けには縦配線対応の縦穴があり、配線をすっきりとまとめることができます。



*オプション

昇降操作レバー

記

- 【製品名】 「Work Lift(ワークリフト)」
- 【発売日】 2009年11月20日
- 【カラー】 天板:ホワイト/本体:シルバー
- 【材質】 天板:低圧メラミン(天板厚25mm)、エッジ:樹脂(ABS)
機構部カバー:スチール、樹脂焼き付け塗装
- 【販売目標】 初年度8,000万円
- 【販売ルート】 全国の文具・事務用品販売店、量販店、家具店等
- 【仕様】



<デスク本体>

品名	品番	幅(mm)	奥行(mm)	高さ最下点(mm)	高さ最高点(mm)	価格(税込)
上下昇降デスク 「Work Lift(ワークリフト)」	TT-107	1,000	700	700	1150	189,000円
	TT-127	1,200				199,500円

<オプション>

品名	品番	幅(mm)	奥行(mm)	高さ(mm)	価格(税込)
PCラック	TT-PC	140	382	430	26,250円
デスクトップパネル (光触媒クロス)	XD-083P-Q	800	25	325	27,510円
	XD-103P-Q	1,000			29,925円
デスクトップパネル (PET再生クロス)	XD-083P	800			23,835円
	XD-103P	1,000			26,040円
ペントレー	XI-PT	207	207	30	4,305円

※ 厚生労働省がパソコンを使用している事業所・ワーカーを対象に行った「平成20年技術革新と労働に関する実態調査」によると、VDT作業で身体的な疲労や症状を感じている人は68.6%。そのうち、身体的疲労や症状の内容をみると、「目の疲れ・痛み」が90.8%と最も多く、次いで「首、肩のこり・痛み」74.8%、「腰の疲れ・痛み」26.8%となっています。

作業時間別にみると、「4時間以上6時間未満」の人の81.7%、「6時間以上」の84.9%が身体的な疲労や症状を感じていることがわかりました。

(<http://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/saigai/anzen/08/index.html>)

■各体勢に適した作業シチュエーション

<座って仕事>

- ・クリエイティブな仕事に集中したい時

<立って仕事>

- ・同僚との簡単な打ち合わせ、ブレインストーミング
- ・資料整理など作業を手早く済ませたい時
- ・姿勢を変えて気分をリフレッシュしたい時
- ・眠気を予防したい時

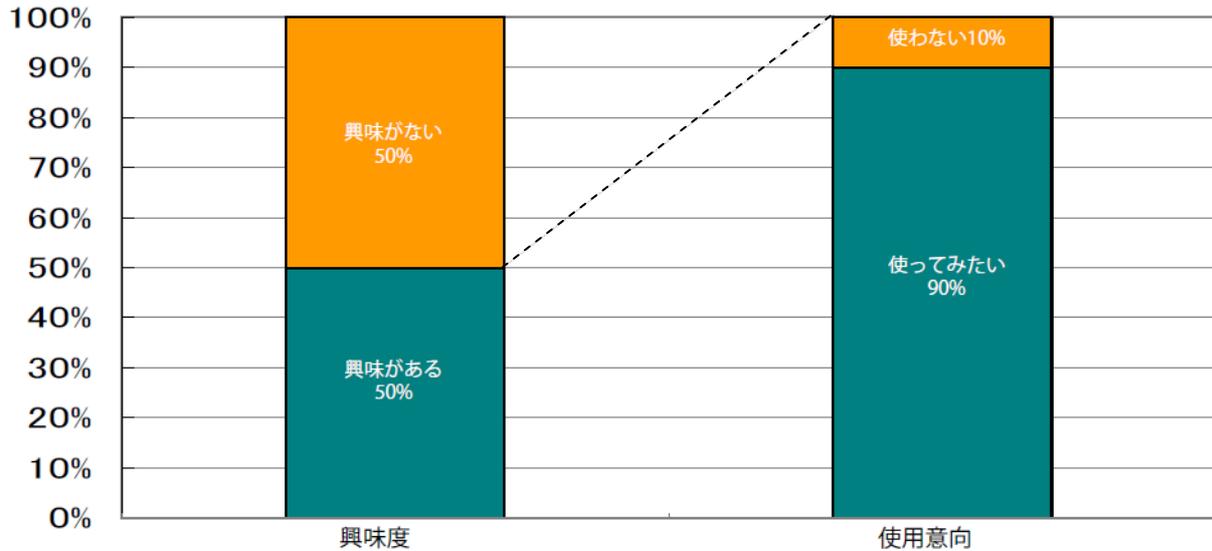
<お問い合わせ先>

(報道関係) プラス株式会社 秘書室 広報グループ 藤原
〒105-0001 港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス12F
TEL:03-5860-7012 FAX:03-5860-7070
広報事務局 TEL:03-5251-4779 FAX:03-3504-8651
(お客様) お問い合わせセンター TEL:0120-432-298

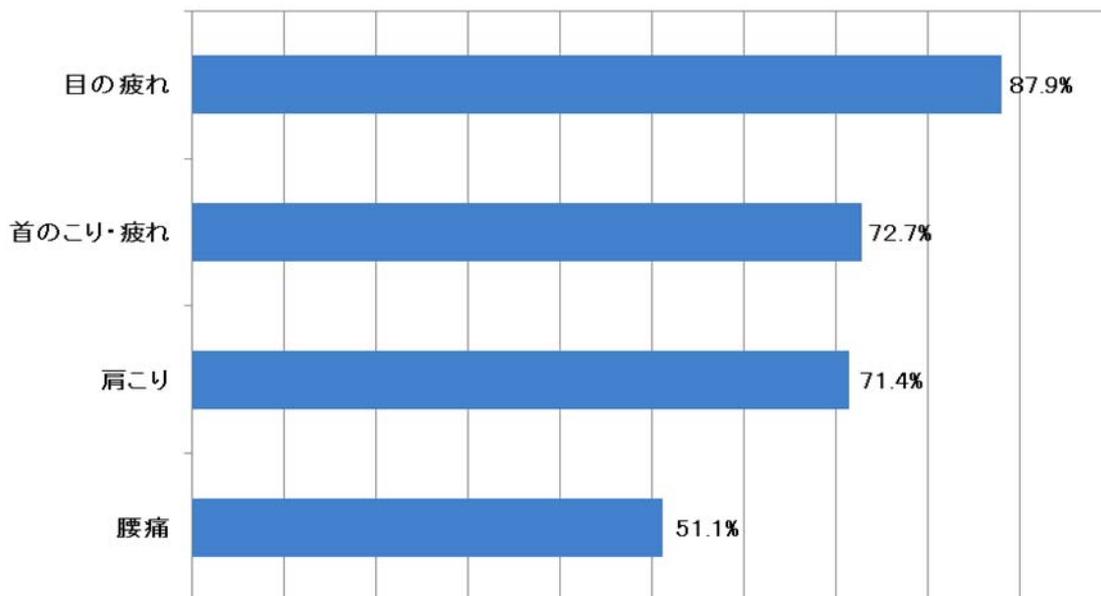
プラス(株)は、天板昇降デスク「WorkLift(ワークリフト)」の発売に先がけ、製品への関心度について全国の20～59歳のビジネスパーソン(500名)を対象にインターネットによるアンケート調査を実施しました。

<『天板昇降デスク』 関心度アンケート結果>

■『天板昇降デスク』の動画を見て、“興味がある”(「とても興味を持った」+「まあ興味を持った」と答えた方は半分の50%。“興味がある”人の中で“使ってみたい”と答えた方は、その内の90%を占めました。通常、興味度に対し使用意向は低くなりますが、この調査では高い関心度がうかがえました。



■『天板昇降デスク』に興味を持った方の多くは仕事に疲れを感じている割合が高く、特に「目の疲れ」「首のこり・疲れ」「肩こり」「腰痛」を感じている方の約5～9割が関心を示しています。その時々で姿勢が切り替えられる『天板昇降デスク』に、その痛みの軽減を期待しているのかもしれませんが。



※調査期間:2009年6月12日～17日
有効回答:500サンプル(男性345名、女性155名)